

令和 7 年度地方独立行政法人名張市立病院
業務実績に係る評価

令和 8 年 7 月
名張市

1. 年度評価の考え方

名張市長（以下「市長」という。）は、地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号。以下「法」という。）第 28 条第 1 項及び第 3 項の規定により、地方独立行政法人名張市立病院（以下「法人」という。）の令和 7 年度に係る業務実績についての評価を行った。

評価は、法人から提出された報告書をもとに、進捗状況を確認しながら、評価委員会からの意見を踏まえ最終判断を行った。

（１） 評価の基本方針について

市長が実施する法人の評価は、以下の方針に基づき行った。

- ① 評価は、法人が中期目標を達成するために、法人の質的向上及び業務運営の改善及び効率化を進め、財政内容改善に資することを目的として行うものとする。
- ② 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取組状況を市民等に分かりやすく示すものとする。
- ③ 評価を行うに当たり、法第 28 条第 4 項及び地方独立行政法人名張市立病院評価委員会条例（令和 6 年名張市条例第 6 号）第 2 条第 1 項第 2 号の規定により、地方独立行政法人名張市立病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を聴取する。
- ④ 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- ⑤ 年度計画及び中期計画を実現するために、法人として特色ある取組や様々な工夫を行った場合は積極的に評価することとし、単に実績数値にとられないものとする。
- ⑥ 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。

（２） 年度評価の方法について

市長は、法人の自己評価を検証し、年度計画に掲げた中項目及び大項目ごとの達成状況について、次の基準により評価を行った。また、当該事業年度における業務の実績全体について記述式による評価を行った。

評 価 基 準	評価	判 断 基 準
	5	計画を大きく上回っている
	4	計画を上回っている
	3	計画をほぼ予定通りに実施している
	2	計画を下回っている
	1	計画を大きく下回っており改善が必要である

（３） 評価委員会名簿

委員長 伊藤 正明 三重大学 学長
委員 江藤 由美 三重大学医学部看護学科 教授
委員 森岡 浩平 名賀医師会 会長
委員 和田 頼知 和田公認会計士事務所 所長
委員 奥村 和子 一般社団法人青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会 代表理事

2. 全体評価結果について

令和7年10月1日から地方独立行政法人へと運営形態を変更し、これまでの事業を承継しつつ、地方独立行政法人の特長である柔軟性や迅速性を活用し、地域で持続的かつ安定的に医療を提供がなされている。中期計画に達成すべき目標や取組を定め、令和7年度年度計画では組織体制の構築と課題に注力し、目標達成に向けた取組を実践している。

名張市立病院の大きな課題である看護師等の人材不足をはじめ、物価高騰、人件費高騰など、大変厳しい状況の中でスタートとなった。経営状況はすぐに改善できるという状況ではないものの、地域に必要な医療を最大限提供できるように取り組み、公立病院として地域全体での持続可能な地域医療提供体制の確保に努めていると全体的に評価した。

(評価結果)

項 目	中項目評価			大項目評価		
	最終評価	1次評価	法人評価	最終評価	1次評価	法人評価
大項目 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置				4	4	4
中項目 1 地域に必要な二次医療提供体制の確保	4	4	4			
2 医療水準の向上	4	4	4			
3 患者サービスの一層の向上	3	3	3			
大項目 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置				3	3	3
中項目 1 地方独立行政法人の内部統制	3	3	3			
2 効率的かつ効果的な業務運営	4	3	4			
大項目 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置				2	2	3
中項目 1 収支の改善	2	2	3			
大項目 第5 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためにとるべき措置				4	4	4
中項目 1 地域の医療水準向上への貢献	4	4	4			
2 市及び県の施策への協力	3	3	3			

3. 大項目・中項目の総括と評価結果

大項目 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

(1) 評価結果 「評価4 年度計画を上回っている」

(2) 判断理由 目標指標に届かない項目もあったものの、地域の二次救急医療機関としての役割を果たすために、課題に対し積極的に取り組んだことを評価し、3項目ある中項目のうち2項目を評価4とし、総じて大項目に係る評価を評価4とした。

(小項目別評価の集計結果)

中 項 目 項 目 名 称	最終評価	一次評価	法人 自己評価	小項 目数	法人小項目別評価									
					取 組					目 標 指 標				
					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 地域に必要な二次医療提供体制の確保	4	4	4	5	1	3	1				2	3		
2 医療水準の向上	4	4	4	3		3						1		
3 患者サービスの一層の向上	3	3	3	5			4	1			1	1	2	
合 計				13	1	6	5	1			3	5	2	

主な評価委員会の意見等

1 地域に必要な二次医療提供体制の確保

- ・名張市では、訪問診療は重要な役割を果たすものであり、増加していることは良い方向である。訪問看護とも連携して、充実させていただきたい。
- ・すい臓がん検診は、市民が安心できる取組である。
- ・サービスの質の向上については非常によく努力されている。
- ・救急の応需率が98%近くになっており、改善されていることを評価したい。
- ・二次救急医療というのは名張で唯一であるので、維持できるように引き続き努力していただきたい。
- ・病床の一部休止はスタッフ不足が要因かと思われるが、改善のための取組を進めてほしい。
- ・二次救急医療については、非常に順調に対応していただいております評価したい。

2 医療水準の向上

- ・昨今は看護師の志望者が減少しており、大学でも応募者が減少、専門学校は全国的に定員割れとなる厳しい状況が予想されている。継続して看護師を確保する対策を考えていただきたい。
- ・看護師の確保により病床を再開し、直接収益につなげることができる。紹介手数料等の費用も一定やむを得ないが、看護学校の定員を埋める努力をしていただきたい。
- ・一番の懸案であった看護師不足について、順調に解消に向かっている。看護師の定着には伊賀地域での採用が重要である。
- ・働く環境の整備に力を入れており、夜勤専従制度等もニーズに合った良い取組である。

3 患者サービスの一層の向上

- ・広報等による市民への発信が弱い。情報発信に力を入れるべきではないか。
- ・患者満足度が低すぎるので、満足度を高める対応を心掛けていただきたい。
- ・患者満足度の低下は、職員のモチベーションにも関わってくる。調査方法等を工夫して、患者の声に近い、確かなデータが取れるように取組を進めていただきたい。
- ・アレルギーの子どもを対象にした夏まつりの取組など、もっとアピールをしてもよいのではないか。
- ・患者満足度を下げている原因・課題を分析し、改善につなげていただくことを期待する。

目標指標		R6 実績	R7 目標	R7 実績	達成率
(4)	外来患者満足度	68.0%	71.0%	67.0%	94.4%
	入院患者満足度	81.3%	83.0%	70.2%	84.6%

大項目 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 評価結果 「評価3 年度計画をほぼ予定通りに実施している」

(2) 判断理由 2項目ある中項目のうち、評価3、評価4となり、法人の自己評価、目標指標の達成率など総じて大項目に係る評価を評価3とした。

(小項目別評価の集計結果)

中 項 目 項 目 名 称	最終評価	一次評価	法人 自己評価	小項 目数	法人小項目別評価									
					取 組					目 標 指 標				
					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 地方独立行政法人の内部統制	3	3	3	4		2	1	1						
2 効率的かつ効果的な業務運営	4	3	4	6		4	2					2		
合 計				10		6	3	1				2		

主な評価委員会の意見等

1 地方独立行政法人の内部統制

- ・サイバー攻撃が問題になっており、委託先からの侵入が多いので、委託先のセキュリティ対策の調査や訓練が必要である。
- ・BCPは検討段階、セキュリティポリシーは準備段階ということであるが、重要な個人情報を扱っているので、早急に整備を進めていただきたい。
- ・表彰制度については、職員全体に周知しながら実施することにより、働きやすい環境を整えることになるので、引き続き拡充することを期待する。

2 効率的かつ効果的な業務運営

- ・働き方改革が促進されている中で、働きやすい就業環境の整備の評価が高いというのはとても良い傾向である。
- ・職員の福利厚生受診の制度はとても素晴らしい取組である。
- ・看護学校の入学者数の達成度が低いことについて、全国的に専門学校で定員割れ等が起こっていることを考慮すると、計画の目標値が厳しいのではないか。

大項目 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 評価結果 「評価2 年度計画を下回っている」

(2) 判断理由 法人の自己評価は3評価であるものの、3項目の小項目に係る目標指標の多くが目標値を下回っているため、評価2とした。

(小項目別評価の集計結果)

中 項 目 項 目 名 称	最終評価	一次評価	法人 自己評価	小項 目数	法人小項目別評価									
					取 組					目 標 指 標				
					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 収支の改善	2	2	3	3			3						3	
合 計				3			3						3	

主な評価委員会の意見等

1 収支の改善

- ・赤字の原因としては、病床稼働率が低いこと、患者数が少ないということが問題である。
- ・地域連携室が地域の医療機関のコンシェルジュになって患者を紹介しやすくしてはどうか。
- ・地域の医療機関から名張市立病院に紹介する際に、診療科に直接確認することとなっているため紹介患者が予約を取りにくい仕組みになっている。多くの自治体病院でも同様の仕組みであるが、地域連携室を強化し、スムーズに紹介できる仕組みにして患者数を増やすというところに注力していただきたい。
- ・外来収益低下の原因を分析する必要がある。
- ・損益計算書では当期総損失5億3千万円となっているが、今後の見通しとしては、看護師を確保し病床も再開してきているので、改善が見込めるものと理解する。引き続き、スタッフの増強に努力していただきたい。
- ・接遇をきちんとし、満足度を上げるよう対応していただきたい。
- ・患者が予約を取りにくいということも課題であり、適切に治療につなぎ、安心して受診できる体制を維持してほしい。

目標指標		R6 実績	R7 目標	R7 実績	達成率
小項目 (1)	入院収益	2,976 百万円	1,385 百万円	1386 百万円	100.1%
	病床稼働率	67.0%	59.0%	51.7%	87.6%
	入院診療単価	60,846	64,767	73,593	113.6%
	外来収益	1,038 百万円	546 百万円	438 百万円	80.2%
	1 日平均外来患者数	276	284	250	88.0%
	外来診療単価	15,466	15,802	14,872	94.1%
	レセプト返戻率 【マイナス指標】	0.5%	0.4%	0.7%	57.1%
	(査定率) 【マイナス指標】	0.37%	0.32%	0.45%	71.1%

大項目 第5 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためにとるべき措置

(1) 評価結果 「評価4 年度計画を上回っている」

(2) 判断理由 小項目、中項目の評価、並びに法人の自己評価、目標指標の達成率など総じて大項目に係る評価を評価4とした。

(小項目別評価の集計結果)

中 項 目	最終評価	一次評価	法人 自己評価	小項 目数	法人小項目別評価									
					取 組					目 標 指 標				
項 目 名 称					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1 地域の医療水準向上への貢献	4	4	4	2	1		1				1			
2 市及び県の施策への協力	3	3	3	2			2							
合 計				4	1		3				1			

主な評価委員会の意見等

1 地域の医療水準向上への貢献

- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けて積極的に医療従事者の養成を行うなど努力いただいている。

2 市及び県の施策への協力

- ・地域医療連携推進法人の取組を進めているとのことであるが、伊賀・名張地域において3つの病院をいかに有機的に効率的に配置し、どのような役割を担っていくかということは非常に重要であるので、ぜひ、実現に向けて取り組んでいただきたい。